



嵐山 だより

令和4年11月17日
京都市立嵐山小学校
校長 野浪 健史

令和4年度 前期学校評価アンケート 結果のお知らせ

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者の皆様にはお忙しい中、7月の「令和4年度前期学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございます。集計結果を報告させていただきます。

今年度も、コロナ禍で制限された環境の中での学校教育活動でしたが、昨年度の結果と比べながら考察したいと思います。

確かな学力



①～⑨の確かな学力についての質問に対する結果を見ると、全体的に昨年度より「よく出来ている」「大体出来ている」の割合が増えています。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために発出されていた緊急事態宣言の影響もあり、周りの友達と密接になることを避け、話し合い活動や学級間交流の停止、楽器の演奏、合唱の中止など、様々な制限がありました。今年度は、昨年度よりも制限が緩和され、実施が可能になった学校行事も多く、学習を含めた様々な活動に対して児童が意欲的に取り組み、授業に臨んでいたと考えられます。

中でも、①「授業中、進んで学習に 取り組んでいますか。」、②「色々なことに めあてをもって 粘り強く 努力していますか。」の項目では、よく出来ていると答えた児童が昨年度より大幅に増えており、児童が授業時間に学習することを大切なことだととらえ、めあてを明確にしながら努力を重ねているという意識をもっていただけたことがわかりました。また、⑤「ノート工夫して 丁寧に 書いていますか。」、⑦「進んで 読書をしていますか。」の項目でも、よく出来ていると答えた児童が昨年度に引き続いて増えており、学習を進めるにあたって、ノート作りや読書から知識を得ることが大切だと感じている児童が多いことがわかります。

また、①「授業中、進んで学習に 取り組んでいますか。」、②「色々なことに めあてをもって 粘り強く 努力していますか。」の項目でも見られるように、「あまり出来ていない」「出来ていない」と答えた児童の割合も少なくなっています。ほとんどの児童が学校での学習を前向きにとらえ、意欲・関心をもって授業に取り組んでいることがわかりました。今後も児童の意欲・関心を高める授業作りに、学校全体として取り組んでいきたいと思ひます。

児童アンケート結果 (上段今年度・下段昨年度)

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
①授業中、進んで学習に 取り組んでいますか。	51.5%	37.5%	11.1%	0.0%
②色々なことに めあてをもって 粘り強く 努力していますか。	44.3%	41.0%	12.7%	2.0%
③先生や 友達の話 を しっかり聞いていますか。	63.8%	30.0%	5.5%	0.7%
④学校での学習は よくわかりますか。	60.3%	32.2%	5.5%	2.0%
⑤ノートを工夫して 丁寧に 書いていますか。	51.1%	31.9%	13.4%	3.6%
⑥自分の思いや 考えを 進んで発表していますか。	42.7%	30.9%	19.9%	6.5%
⑦進んで 読書をしていますか。	52.4%	23.2%	17.4%	7.1%
⑧宿題を 毎日 忘れずしていますか。	72.0%	19.9%	6.2%	2.0%
⑨宿題とは別に 家庭学習に 取り組んでいますか。(塾も含みます)	49.5%	24.1%	15.6%	10.7%
⑩失敗をおそれずに 最後まで挑戦しようとしていますか。	56.4%	30.3%	12.1%	1.3%
⑪学校や家で、自分から あいさつや 返事をしていますか。	55.7%	31.9%	10.7%	1.6%
⑫自分も 友達も 大切に 仲良く過ごしていますか。	74.9%	21.5%	3.3%	0.3%
⑬学校生活を 楽しく 過ごすことができていますか。	68.7%	22.5%	7.5%	1.3%
⑭学校・学級の「きまり」「約束」を守っていますか。	63.8%	29.6%	5.9%	0.7%
⑮夢や 目標をもって 学習していますか。(毎日の生活の中での目標や 将来の夢など)	61.2%	26.4%	9.4%	2.9%
⑯人を いじめたり 仲間はずれにしたり しないように 気を付けていますか。	78.5%	18.9%	2.0%	0.7%
⑰毎日、早寝・早起きをしていますか。(朝7時には起きて、夜10時には寝ていますか)	46.3%	26.7%	21.2%	5.9%
⑱好き嫌がなく 給食を食べていますか。	64.2%	28.3%	4.6%	2.9%
⑲ゲームや テレビの時間を 守り、進んで 体を動かしていますか。	44.3%	31.6%	17.6%	6.5%
⑳安全(交通・防犯)に 気を付けて 過ごしていますか。	79.8%	18.2%	1.6%	0.3%
㉑学校からの プリントや 手紙を、家の人に見せていますか。	65.8%	24.8%	5.5%	3.9%

<学校教育目標>

自ら関わりをもち、自ら学びにチャレンジする子どもの育成
～友だち大すき 学校大すき 地域大すき 嵐山の子～



豊かな心

⑩～⑯の豊かな心についての質問に対する結果からは、特に⑩「学校や家で、自分から あいさつや 返事をしていますか。」の項目で「よく出来ている」と答えた児童の割合が昨年度よりも増えていました。今年度は本校のめざす子ども像の一つを『あいさつを自発的にできる子ども』とし、あいさつや返事を自発的な習慣として意識できるように取り組んできました。その結果が、児童の意識にも反映してきたように感じています。

また、例年比較的「よく出来ている」の割合が低かった項目である⑮「夢や 目標をもって 学習していますか。」の質問に対する「よく出来ている」「大体出来ている」の割合が昨年度に引き続き増えており、夢や目標をもって学習に取り組んでいる児童が年々増えてきていることがわかりました。

また、⑭「学校・学級の『きまり』『約束』を守っていますか。」の質問に対する回答では、昨年度は低くなっていた「よく出来ている」の割合が今年度は高くなっており、きまりやルールに対する意識の高まりも感じることができました。今後も、学校・家庭・地域の連携のもと、児童の規範意識のさらなる向上を目指していきたいと思ひます。

健やかな体



⑰～⑲の健やかな体に関する質問に対する結果についても、子どもたちの回答に昨年度と大きく変化している項目は見られませんでした。

詳しくみていくと、⑰「毎日、早寝・早起きをしていますか。」と⑲「ゲームや テレビの時間を 守り、進んで 体を動かしていますか。」の項目で「あまり出来ていない」と答える児童の割合が少し増えています。この傾向は昨年度から続いており、コロナ禍で外出を控えテレビやゲームの時間の増加が継続し、さらには定着してしまい、児童の生活習慣の乱れに表れていると考えられます。

今後も「保健だより」や児童会本部委員会、保健委員会の取組や活動を通して、児童に規則正しい生活のよさを伝えていけるように、学校での取り組みを進めていきたいと思ひます。ご家庭でも、就寝前のテレビや動画、ゲームなどをできるだけ避け、落ち着いた雰囲気の中で子どもたちが自然と眠りにつけるような規則正しい生活リズムづくりをお願いしていきたいと思ひます。



<保護者アンケート結果>

	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ない	出来ない
お子さんは 学習で意欲的に取り組んでいると思えますか。	25.6%	53.2%	18.9%	2.3%
お子さんは 途中であきらめず、学習に対して最後まで粘り強く取り組むことができていると思えますか。	20.6%	57.5%	20.3%	1.7%
お子さんは 先生や友だちの話をしっかり聞くことができていると思えますか。	24.9%	62.5%	12.0%	0.7%
お子さんは 学校で学習している内容がよくわかっていると思えますか。	20.9%	61.5%	15.6%	2.0%
お子さんは 丁寧なノートを書いたり、テストなどの問題を直したりすることができていると思えますか。	25.9%	46.5%	21.6%	6.0%
お子さんは自分の思いや考えを進んで話すことができていると思えますか。	22.9%	52.5%	21.9%	2.7%
お子さんは 本を読む習慣身につけていると思えますか。	20.6%	28.9%	35.5%	15.0%
お子さんは 進んで宿題に取り組んでいると思えますか。	29.6%	48.5%	15.9%	6.0%
お子さんは 宿題以外の自主的な学習に取り組んでいると思えますか。(学習塾も含み、見通しをもって計画的に取り組んでいるか)	17.6%	35.2%	36.5%	10.6%
お子さんは 失敗を恐れずに最後まで挑戦しようとしていますか。	16.6%	60.5%	20.6%	2.3%
お子さんは 気持ちのよいあひさつを返ってきていると思えますか。	23.6%	58.1%	17.9%	0.3%
お子さんは お互いを大切にして話したり、行動したりすることができていると思えますか。	31.2%	61.8%	6.3%	0.7%
お子さんは 日々の学校生活を楽しいと感じていると思えますか。	37.9%	57.1%	4.3%	0.7%
お子さんは 学校のきまりや社会のきまり、約束を守って生活することンができていると思えますか。	44.9%	51.2%	3.7%	0.3%
お子さんは 夢や目標をもって活動できていると思えますか。(将来の夢や生活の中での小さな目標など)	23.3%	52.8%	20.6%	3.3%
お子さんは人をいじめたり仲間はずれにしたりしないよう活動できていると思えますか。	55.1%	44.2%	0.7%	0.0%
お子さんは 早寝・早起きすることンができていると思えますか。(朝7時は起きて夜10時に寝ているか。)	35.9%	40.2%	18.6%	5.3%
お子さんは バランスのよい食事を意識してしっかり食えることンできていると思えますか。	35.9%	48.2%	14.0%	2.0%
お子さんは ゲームやテレビの時間を守り、進んで体を動かしていると思えますか。	15.9%	46.5%	31.6%	6.0%
お子さんは 安全に登下校したり地域で過ごしたりすることンできていると思えますか。	44.9%	52.2%	3.0%	0.0%
学校によりや学年・学級により、ホームページなどで学校や担任からのメッセージや学校の様子伝わっていると思えますか。	27.6%	65.1%	6.3%	1.0%
京都嵯峨学園の名称について、保護者の方で地域の方から知っていただいていると思えますか。	10.6%	68.4%	17.3%	3.7%
京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供できていると思えますか。	9.0%	68.1%	19.3%	3.7%
小中の連携した教育活動として取り組んでいると思えますか。	9.0%	69.8%	17.3%	4.0%

<児童のアンケートと比べて>

保護者アンケートの項目と、児童が学校で回答している児童アンケートの項目は、内容を合わせて実施しています。保護者アンケートの回答傾向と、児童アンケートの回答傾向を比較すると、例年、回答の内容は保護者のみなさんと児童の間で同じような傾向になっています。また、保護者のみなさんの回答の方が児童の回答より厳しめの回答になっており、子どもたちは、自分に甘い傾向にあるようです。子どもの思いを認めつつ、大人から見た改善点などを日常的に伝えることが大切だと感じます。

<記述欄より>

今回の記述欄には、表面にもありましたが、本校の**めざす子ども像**の一つである『**あいさつを自発的にできる子ども**』を受け、あいさつについてご家庭で心がけておられることを教えていただき、皆さんで共有できれば子育ての参考になるのではないかと考え、「**お子さんがあいさつを自発的にできるように、ご家庭でどのような工夫をされているか。**」をお尋ねしました。いくつかのご意見を掲載させていただきます。

<親が積極的にお手本を見せる>

- 親も大きな声で元気よくあいさつをする。元気よくあいさつすることでお友達や先生とも一日気持ちよく過ごすことができると伝えている。
- あいさつは本当に大切にしてほしいと思っていることなので、親である自分が進んであいさつする姿をみてもらうよう、家の中でも必ずあいさつをしてから、何事もするようにしています。
- 大人が手本を示せばいいと思います。家でも朝起きたら、「おはよう」と声をかけ、帰ってきたら「おかえり」や「ただいま」、また「ありがとう」や「ごめんなさい」も大事にしています。自らあいさつをする子どもは少ないです。だから大人が伝えていく必要があると思います。
- お友達とさよならをする時、「気をつけて帰ってね。」と言っていました。親がよく言っているからだと思いました。子どもは親のすることをよく見ていて、同じことをするのだと感じます。だから、まず親があいさつをすることが大事だと思います。その姿を見ていたら、自然とあいさつしてくれるのではないかと思います。
- 興味深い出来事や好きなことなど、寝る前によく話をしてくれるので、子どもとのコミュニケーションを楽しんでいます。話をすることで熟睡できるようで、翌朝気持ちよくあいさつしてくれます。

このように、子どもたちが自発的にあいさつできるようにしていくには、大人が子どもたちにあいさつをしたり声をかけたりするよい手本を示していくことが大切だという声が多かったです。また、コミュニケーションを楽しみながらあいさつにつなげるという声もあり、あいさつは目的ではなく、大切なコミュニケーションなのだという事を再確認しました。



<気持ちよさ・大切さを伝える>

- 一緒にいる時、親がしっかりとあいさつをすることで手本になっているのではないかと思います。また、あいさつをすること、されることの大切さや気持ちよさを親子で話しています。
- 寝る時、起きた時に「おやすみ」「おはよう」を言うようにしています。知っている人に会った時は、あいさつをするようにしています。自分から言えるように少し待ってみたりしています。
- 相手に聞こえていないくらい小さい声のあいさつは、あいさつをしていないのと同じです。あいさつするのは人間として当たり前のことなので、あいさつをしないといけない場面なんてない。相手か気付いてなくても必ずあいさつをすることを伝えています。(特に近所の方など、大人にあいさつする時)
- あいさつは「やりなさい」といくら言っても自分から進んですることは難しいと思います。社会の中で、学校・習い事・友だちにあいさつをして、人からしてもらえて気持ちのよい経験を繰り返すことが大切だと思います。家では人からしてもらうのを待つのではなく、自分から先にしよう伝えています。

コミュニケーションとしてのやり取りの気持ちよさや大切さを伝えることはとても大事なことです。

<みなさんからのご質問・ご意見>

- 学習の習慣をつけるにはどうしたらよいか、意見を伺ってみたいです。せめて宿題だけでも自主的に取り組めるようになると思います。今は促さないと取りかかりません。
- 下校時に、子どもたち同士で遊ぶ約束をしていて、時々困っています。ルール決めや、声かけをみなさんがどのようにしているのか知りたいです。

今年度は、学級懇談会も実施しています。次回は年度末になりますが、子育ての悩みを話題に挙げてみなさんで意見を交流できたらと思います。

- 嵯峨中学校の進路説明会と小学校の参観が重なっていることがあり、とても困りました。このようなことが無いように配慮してほしいです。

学校間の行事を点検し合うことで改善していきたいと思います。

<たくさんの方のご意見ありがとうございました。>

この他にも、たくさんのご家庭の工夫などのご意見をいただきました。ありがとうございました。また、テーマに関することだけではなく、学校の教育活動についても様々な意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。嵐山小学校の教育をさらに充実したものにしていきたいと思っています。